

鈴木丹士郎教授 履歴・業績

鈴木丹士郎教授 履歴・業績

昭和十三年二月二十六日 新潟県三条市に生まれる。

〔学 歴〕

昭和三十一年三月 新潟県立三条高等学校卒業
昭和三十五年三月 新潟大学教育学部卒業
昭和三十七年三月 東北大学大学院文学研究科国語学専攻修士課程修了
昭和四〇年三月 東北大学大学院文学研究科国語学専攻博士課程単位取得満期退学

〔職 歴〕

昭和四〇年四月 専修大学商学部専任講師
昭和四三年四月 専修大学文学部助教教授（商学部より配置換）
昭和四九年四月 専修大学文学部教授
昭和五九年四月～昭和六一年三月 専修大学文学部国文学科長

平成二年九月～平成六年八月 専修大学文学部長

平成二年九月～平成六年八月

学校法人専修大学理事

平成二年九月～平成六年八月

学校法人専修大学評議員

平成一三年三月～現在に至る

学校法人専修大学評議員

平成一五年四月～平成一九年三月

専修大学大学院文学研究科長

平成二〇年三月 専修大学定年退職

この間、左の大学へ出講

昭和五三年四月～昭和五四年三月

フェリス学院大学文学部非常勤講師

昭和五三年四月～昭和五四年三月

鶴見大学文学部非常勤講師

昭和五五年四月～平成元年三月

鶴見大学文学部非常勤講師

昭和五五年四月～昭和五六年三月

産業能率大学経営学部非常勤講師

昭和五五年四月～昭和六二年三月

和光大学人文学部非常勤講師

昭和五八年度集中講義 新潟大学教育学部非常勤講師

昭和六二年度集中講義 大阪大学文学部・大学院文学研

究科非常勤講師

平成元年四月～平成二年三月

鶴見大学大学院文学研究科非常勤講師

平成七年四月～平成九年三月

東京大学文学部非常勤講師

平成七年四月～平成九年三月

共立女子大学文芸学部非常勤講師

平成八年四月～平成一一年三月

東京都立大学人文学部・大学院文学研究科

非常勤講師

平成九年四月～平成一二年三月

上智大学文学部・大学院文学研究科非常勤

講師

平成一一年四月～平成一五年三月

学習院大学大学院文学研究科非常勤講師

平成一一年度集中講義

大阪大学文学部・大学院文学研

究科非常勤講師

平成一二年度連続講義

東北大学文学部・大学院文学研

究科非常勤講師

〔業績〕

〔著書〕

◇『知つてなつとく 日本語鑑定団』金田弘と共著、小学館、平成一二年一月

◇『近世文語の研究』東京堂出版、平成一五年九月

◇『江戸の声』語されていた言葉を聴く 教育出版、平成一七年八月

〔編著書〕

◇『国語学要説』佐藤喜代治編、佐藤喜代治・蜂谷清人・加藤正信・飛田良文・佐藤宣男・前田富祺と共著、朝倉書店、昭和四一年五月

*改訂版『新版 国語学要説』朝倉書店、昭和四八年

三月

◇『三省堂 古語辞典』佐伯梅友監修、佐伯梅友・小松英雄・桜井光昭・土井洋一・森野宗明と共著、三省堂、昭和四六年一月

*修訂版『三省堂 古語辞典』三省堂、昭和四九年一

月

◇『国語史（下）』佐藤喜代治編、蜂谷清人・飛田良文と

共著、桜楓社、昭和四六年四月

◇『例解古語辞典』佐伯梅友代表、佐伯梅友・小松英雄・森野宗明・桜井光昭・土井洋一と共著、三省堂、昭和五五年一月

＊第二版 昭和六〇年一月、初版と同共著、第三版、

佐伯梅友顧問、小松英雄・土井洋一・林史典・森野宗明と共著、三省堂、平成四年一月

◇『日本文法事典』北原保雄・武田孝・増淵恒吉・山口佳紀と共著、有精堂、昭和五六年一二月

◇『日本文学名作事典』森野宗明・栗坪良樹・鈴木貞美・宮腰賢・山崎一穎と共著、三省堂、昭和五九年五月

◇『論集日本語研究 一四 近世語』(編) 有精堂、昭和六〇年四月

◇『雨月物語 本文及び総索引』(編) 武蔵野書院、平成二年五月

◇『大辞泉』松村明監修、池上秋彦・金田弘・杉崎一雄・中嶋尚・林巨樹・飛田良文と共編、小学館、平成七年一二月

〔論文〕

◇上田秋成の擬古文的要素『文芸研究』第四三集、昭和三八年三月

◇形容詞「―シシ」について『国語学研究』第三集、昭和三八年六月

◇サ変動詞の助動詞「き」への接続面の混乱―馬琴における文語の問題―『文芸研究』第四七集、昭和三九年六月

◇馬琴の文語―形容詞カリ活用の場合―『国語学』第六〇集、昭和四〇年三月

＊『論集日本語研究 一四 近世語』(鈴木丹士郎編、有精堂、昭和六〇年四月)に再録

◇下二段動詞の四段化―近世における口語の文語への混入―『国語学研究』第五集、昭和四〇年八月

◇「かまびすし」の活用とその意味『国語学』第六二集、昭和四〇年九月

◇近世文語の問題『専修大学論集』第三号、昭和四一年一月

◇馬琴の語彙『専修国文』創刊号、昭和四二年一月

◇読本における漢字語の傍訓―『雨月物語』『弓張月』を中心として―『近代語研究』第二集、武蔵野書院、昭和四二年一〇月

◇「里見八大伝」に見える漢語語彙(上)『専修人文論集』第一集、昭和四三年二月

◇「べし」と「まじ」の接続『専修大学人文科学研究月

報」第六号、昭和四三年一月

◇「里見八犬伝」の漢語語彙について『専修国文』第五号、昭和四四年八月

◇「雨月物語」の動詞語彙『国語学研究』第九集、昭和四四年一〇月

◇近世文語における呼応現象のくずれと変容『専修国文』第八号、昭和四五年九月

◇「が」と「を」——「文法が好き」「文法を好き」——『月刊文法』第二卷第一号、昭和四五年九月

◇「つ」と「ぬ」のつき方『月刊文法』第三卷第二号、昭和四五年十二月

◇「懷旧樓筆記」の漢語語彙『文芸研究』第六七集、昭和四六年三月

◇「簡単」と「單簡」と『専修大学人文科学研究所月報』第一八号、昭和四六年五月

◇現代漢語の原流とその若干の問題『阿達義雄博士退官記念論集 国語国文学・国語教育論叢』阿達義雄先生ご退官記念事業会、昭和四六年六月

◇「里見八犬伝」の用字についての一試論『専修国文』第一一号、昭和四七年一月

◇動詞の問題点『品詞別 日本文法講座 三 動詞』鈴木一彦・林巨樹編集、明治書院、昭和四七年一〇月

◇西鶴・馬琴の敬語『敬語講座 第四卷 近世の敬語』林四郎／南不二男編集、明治書院、昭和四八年一月

◇「簡単」と「單簡」と『続稿「専修大学人文科学研究所月報」第三一・三三三号、昭和四九年二月

◇中近世説話の表現『日本の説話 第七卷 言葉と表現』山田俊雄・馬淵和夫編、東京美術、昭和四九年一月

◇現代漢語源流考断片(一)『専修大学人文科学研究所月報』第四四号、昭和五〇年九月

◇現代漢語源流考断片(二)『専修大学人文科学研究所月報』第四六号、昭和五一年一月

◇「昨夢紀事」に見える漢語語彙の考察(前)『専修国文』第一九号、昭和五一年三月

◇現代漢語源流考断片(三)『専修大学人文科学研究所月報』第四七号、昭和五一年三月

◇「昨夢紀事」に見える漢語について『佐藤喜代治教授退官記念 国語学論集』桜楓社、昭和五一年六月

◇「昨夢紀事」に見える漢語語彙の考察(後)『専修国文』第二〇号、昭和五一年一月

◇補助活用形容詞の機能拡大——近代文語の一問題——『専修大学人文科学研究所月報』第五四号、昭和五二年五月

◇「とみに」小考『専修大学人文科学研究所月報』第五七号、昭和五二年十二月

◇「とみに」小考(補)『専修大学人文科学研究月報』

第五八号、昭和五三年一月

◇「かならずしも」小考『専修国文』第三二号、昭和五三年一月

◇読本から見た馬琴の文語と文体『国語と国文学』第五五卷第一号、昭和五三年一月

◇二字漢語の字序について『押見虎三二教授退官記念論集 国語表現論叢』明治図書、昭和五四年五月

◇馬琴の読本に見られる「ヤカ形容動詞の性格」『国語学研究』第十九集、昭和五四年十二月

◇近世文語研究の課題『私学研修』第八五集、昭和五五年一月

◇「抵抗」と「抗抵」『国語語彙史の研究』二、和泉書院、昭和五六年五月

◇近世語彙の概説『講座 日本語の語彙 第五卷 近世の語彙』佐藤喜代治編、明治書院、昭和五七年六月

◇読本の語彙『講座 日本語の語彙 第五卷 近世の語彙』佐藤喜代治編、明治書院、昭和五七年六月

◇西鶴に見る言語史断片『武蔵野文学』第三〇集、昭和五七年一月

◇滑稽本・洒落本の語彙『講座 日本語学 五 現代語彙との史的対照』森岡健二・宮地裕・寺村秀夫・川端善明編、

明治書院、昭和五七年十二月

◇芭蕉の解釈文法『国文学 解釈と鑑賞』第四八巻第二号 一月臨時増刊号『時代別・作品別 解釈文法』、昭和五八年一月

◇馬琴の読本に見られる「やか」形容動詞の性格(一)『専修国文』第三四号、昭和五九年一月

◇動詞とは何か『研究資料 日本文法』一 用言編(一)動詞 鈴木一彦/林巨樹編、明治書院、昭和五九年四月

◇古語と現代語―言葉の変化―『三省堂 高校国語教育 ぶつくれつ』五、昭和六一年二月

◇二字漢語の字順について『国語論究 第一集 語彙の研究』佐藤喜代治編、明治書院、昭和六一年五月

◇近世文語についての覚書『日本語学』第五巻第五号、昭和六一年五月

◇近世語の文と句の連接『日本語学』第五巻第一〇号、昭和六一年一〇月

◇形容詞両活用(ク活・シク活)についての覚書(前)『専修国文』第四〇号、昭和六二年一月

◇「暮らする」「済まする」のような言い方『近代語研究』第七集、武蔵野書院、昭和六二年二月

◇芭蕉の文法『国文法講座 第五巻 近代語』山口明穂編、明治書院、昭和六二年六月

◇近世の漢字とことば『漢字講座第七卷 近世の漢字とことば』佐藤喜代治編、明治書院、昭和六十二年二月

◇読本の漢字『漢字講座第七卷 近世の漢字とことば』佐藤喜代治編、明治書院、昭和六十二年二月

◇現代短歌に見られる形容詞の用法―補助活用の本活用化―『専修国文』第四三三号、昭和六十二年九月

◇現代短歌に見られる形容詞の分類『専修国文』第四四号、平成元年二月

◇日本語の歴史 敬語『言語学大辞典』第二卷、亀井孝・河野六郎・千野栄一編著、三省堂、平成元年九月

*『言語学大辞典セレクトション 日本列島の言語』(亀井孝・河野六郎・千野栄一編著、三省堂、平成九年一月)に再録

◇近代短歌における和語の再生『日本語学』第八卷第一〇号、平成元年一〇月

*『日本語学』特集テーマ別ファイル④語彙Ⅱ(宮地裕編、明治書院、平成一七年六月)に再録

◇近世に見られる形容詞の分類『近代語研究』第八集、武蔵野書院、平成二年九月

◇『雨月物語』の表現機構『武蔵野文学』第三八集、平成三年一月

◇ワールドウォッチング『育友』第七四号、専修大学育友

会報、平成三年六月

◇サ行四段動詞の靡語形『専修国文』第五〇号、平成四年一月

◇江戸語の成立と特色『日本の近世一〇 近代への胎動』辻達也・朝尾直弘編、中央公論社、平成五年一月

◇近世における形容詞補助活用の展開『専修国文』第五七号、平成七年八月

◇近世における形容詞補助活用の展開(承前)『専修国文』第五八号、平成八年一月

◇現代漢語についての一考察―字順・語順、同音異字語の問題―『言語学林 1995-1996』三省堂、平成八年五月

◇『和英語林集成』三版の増補語彙の古語(研究ノート)『専修国文』第五九号、平成八年八月

◇近世文語の性格『国語と国文学』第七三卷第一二号、平成八年一二月

◇近世文語研究の構想『専修国文』第六〇号、平成九年一月

◇曲亭馬琴 読本語彙の一側面『文芸研究』第一四三集、平成九年一月

*『馬琴 日本文学研究論文集集成22』(板坂則子編、若草書房、平成一二年三月)に再録

◇明治期漢語の品詞性と語形についての一考察

『東京大学国語研究』
『国語学』
『国語学』
『国語学』

〔資料・その他〕

- ◇ 国語研究論集」汲古書院、平成一〇年二月
- ◇ 現代漢語研究についての覚書『日本語研究』第一八号、東京都立大学国語研究室、平成一〇年四月
- ◇ 近世擬古文Ⅱ破格の表現で文語めかす『国文学解釈と教材の研究』第四三巻第一号、平成一〇年一〇月
- ◇ 近世における形容詞シシ語尾の展開『近代語研究』第一〇集、武蔵野書院、平成一一年一〇月
- ◇ 読本に見られる和語語彙造出の方法―曲亭馬琴を中心として―『日本語史研究の課題』日本語研究会編、武蔵野書院、平成一三年一〇月
- ◇ ことばの正濫『國語國字』通巻第一百七十七號 特別號、國語問題協議會編、平成一四年六月
- ◇ 曲亭馬琴の読本の口語語彙『近代語研究』第一一集、武蔵野書院、平成一四年一二月
- ◇ 時刻名の転義用法『筑紫語学論叢Ⅱ―日本語史と方言―』筑紫国語学談話会編、風間書房、平成一八年五月
- ◇ 馬琴の読本文体の輪郭『江戸文学』第三七号、平成一九年一〇月
- ◇ 近世における口語・文語の交錯と関係性『文学』第8巻第6号、平成一九年一一月
- ◇ 「言語道断」考『専修人文論集』第八二号、平成二〇年三月
- ◇ 活用型別動詞一覽『品詞別 日本文法講座 三 動詞』鈴木一彦・林巨樹編集、明治書院、昭和四七年一〇月
- ◇ 「雨月物語」―菊花の約―語彙索引稿『専修人文論集』第一七号、昭和五一年六月
- ◇ 「雨月物語」―白峯―語彙索引稿『専修人文論集』第一八号、昭和五一年一二月
- ◇ 「雨月物語」―浅茅が宿―語彙索引稿『専修人文論集』第一九号、昭和五二年六月
- ◇ 「雨月物語」―夢応の鯉魚―語彙索引稿『専修人文論集』第二一〇号、昭和五三年五月
- ◇ 「雨月物語」―吉備津の釜―語彙索引稿(一)『専修国文』第二六号、昭和五五年一月
- ◇ 「雨月物語」―蛇性の姪―語彙索引稿『専修人文論集』第二四〇号、昭和五五年一月
- ◇ 「雨月物語」―青頭巾―語彙索引稿『専修人文論集』第二五〇号、昭和五五年六月
- ◇ 「雨月物語」―吉備津の釜―語彙索引稿(二)『専修国文』第二七〇号、昭和五五年九月
- ◇ 「雨月物語」―貧福論―語彙索引稿『専修人文論集』第

二六号、昭和五六年一月

- ◇『西国立志編』解題・第一編本文及び語彙索引稿（松本守・施宛宜と共編）『専修国文』第六九号、平成一三年九月

- ◇『西国立志編』解題・第二編本文及び語彙索引稿（松本守・施宛宜と共編）『専修国文』第七一号、平成一四年九月

- ◇『西国立志編』解題・第三編本文及び語彙索引稿（松本守・施宛宜と共編）『専修国文』第七二号、平成一五年一月

- ◇『西国立志編』解題・第四編本文及び語彙索引稿（松本守と共編）『専修国文』第七四号、平成一六年一月

- ◇『西国立志編』解題・第五編（一章～二十一章）本文及び語彙索引稿（松本守と共編）『専修国文』第七八号、平成一八年一月

- ◇江戸の幼児語「言語」第三五卷第九号、平成一八年九月
- ◇『西国立志編』解題・第五編（二十二章～三十六章）本文及び語彙索引稿（松本守と共編）『専修国文』第八〇号、平成一九年一月

〔学界展望〕

- ◇特集・昭和五一年度 国語国文学界の展望 国語学（近

代）『文学・語学』第七九号、昭和五二年一〇月

- ◇昭和53・54年度における国語学界の展望 文法（史的研究―近代）『国語学』第二二集、昭和五五年六月

〔書評等〕

- ◇書評 国立国語研究所報告二七『共通語化の過程―北海道における親子三代のことば―』『計量国語学』第三六号、昭和四一年三月

- ◇紹介 北原保雄著『きのふはけふの物語 研究及び総索引』『国語学』第一〇二集、昭和五〇年九月

〔その他〕

- ◇秋田県米代川流域の言語調査報告（命令表現・依頼表現）『日本文化研究所研究報告』別巻第一集、昭和三八年三月

- ◇形容詞「きびし」の変容（国語学会研究発表会要旨）『国語学』第七五集、昭和四三年一二月

- ◇J・C・ヘボンの「和英語林集成」について『専修大学現代文化研究会会報』第二七号、昭和四四年一月

- ◇『^{古語}現代語助動詞詳説』（松村明編、項目執筆）学燈社、昭和四四年四月

- ◇座談会 言語研究の可能性をさぐる

(江川清・北原保雄・中野洋・原田信一・野村雅昭(司会)と共述)『言語生活』第二六七号、昭和四八年二月

*『シタクスと意味』—原田信一言語学論文選集

(福井直樹編、大修館書店、平成二年一月)に再録

◇健康と康健—漢語の一問題『ニュース専修』第九九号

(論壇)、昭和五二年一〇月二〇日

◇『国語学研究事典』(佐藤喜代治・遠藤好英・加藤正信・佐藤武義・蜂谷清人・飛田良文・前田富祺編、項目執筆)明治書院、昭和五二年一月

◇『国語史辞典』(林巨樹・池上秋彦編、項目執筆)東京堂出版、昭和五四年九月

◇『古語大辞典』(中田祝夫・和田利政・北原保雄編、語誌・項目執筆)小学館、昭和五八年一二月

◇動詞項目のつくり方〈『例解古語辞典第三版』刊行〉『三省堂ぶつくれっと』一〇一号、平成五年一月

◇『日本語解釈活用事典』(渡辺富美雄・村石昭三・加部佐助編、項目執筆)ぎょうせい、平成五年七月

◇座談会 揺れる日本語を編む

(池上秋彦・金田弘・林巨樹・飛田良文と共述)『本の窓』増刊号 特集／まると『大辞泉』、平成七年七月

◇単簡と腸胃—大辞泉、言葉のプロムナード『本の窓』第一八巻第一〇号、平成七年十一月

◇『大辞泉』編集余話『国語展望』第九八号、平成八年六月

◇ヘボンの古語採集—大辞泉、言葉のプロムナード『本の窓』第一九巻第六号、平成八年七月

◇日本語と漢字の「素朴な疑問」(金田弘・加納喜光・林巨樹と共著)『本の窓』第二〇巻第四号、平成九年五月

◇ことば二題—はさみばこ・べどろ『いがぐり』四五号、東北大学文学部国語学研究室誌、平成一四年三月

◇『日本語学研究事典』(飛田良文・遠藤好英・加藤正信・佐藤武義・蜂谷清人・前田富祺編、項目執筆)明治書院、平成一九年一月

なお、講演、研究発表、所属学会、社会における活動等は省略に従った(鈴木 記す)。